

# パートナーシップおかや

NO. 4

## 岡谷市男女共同参画推進市民の会

### 豊かな人生を

岡谷市男女共同参画推進市民の会 今井 朗子

最近「イクメン」「イケダン」という言葉を時々耳にします。「イクメン」は育児に積極的に参加する男性・お父さんを言い、厚生労働省は昨年6月「イクメンプロジェクト」を始めました。「イケダン」はイケてるダンナの略で、或るファッション誌が発生源で、仕事もバリバリこなしながら、家事・育児もバリバリ行う、仕事と家庭を完全に両立させているお父さん・亭主のことです。

内閣府男女共同参画局の調査によると、男女、既婚・未婚、有業・無業にかかわらず殆どの方が「仕事と家庭生活を両立させたいと考えてはいるが、実際は仕事か家庭かのどちらかを優先せざるを得ない」と答えています。

岡谷市は、もともと県内の他市と比較して有業女性が多い傾向にあります。働く場があるということは喜ばしいですが、既婚有業女性の場合、仕事と家事の両方を同位にということは難しく、夫に「イクメン」「イケダン」までは期待しないけれども、現状よりもう一步家庭参画をと望む女性も少なくないと思われます。しかし、成人男性の労働時間は長く必然的に帰宅も遅くなって、仕事と妻の手助けの両立は難しい人が多いといえましょう。

男女共同参画社会づくりには、勿論家庭のあり方だけでなく、男女の雇用均等の推進、政策方針決定の場への女性の参画の拡大、地域づくり、男女平等を推進する教育の充実、女性の起業等へのチャレンジの支援、女性に対する暴力の根絶等あらゆる分野に男女が同等の立場で参画することが重要です。男女共同参画社会は少子化対策にも大きく影響します。

それには、国や地方自治体の取組みに期待するところも大ですが、私たちも強い関心を持ち、出来ることを足元から努力することが大切ではないでしょうか。

### 「DV防止キャンペーン」実施

岡谷市企画課では、性暴力・DV相談電話「パープルダイヤル」を2月8日(火)～3月27日(日)まで通話料無料で開設しました。

すでに、全戸配布のパンフレットが配られています。なかなか周知されなかったり、相談をためらわれたりする方もおられることから、ひとりで悩まないでDV相談というかわいいカードと一緒にティッシュを市民の会会員も一緒に配布しました。

3月4日(土)には早朝、岡谷駅で通学する高校生等に配布しました。また、5日(日)の10時半からはイルフとアピタの入口で買い物客を対象に配りました。男性にも配布し、効果を期待しています。



# 特集 岡谷市の女性の社会進出は？

## 男女共同参画は進んでいるだろうか？

意識の変化や実際の行動を把握することは難しい  
そこで、数字として示せる実態を調べてみました。  
昨年（平成22年）と4年前（平成18年）の比較です

	平成18年度（4月1日）	平成22年度（4月1日）
女性区会議員	46/443人（10.4%）	61/444人（13.7%）

※身近な区会議員に女性を増やそうと働きかけた地区区の条例を見直し組織や運営の仕方を改善した結果、必然的に女性も増えた区などがありました。

※長野県の女性管理職比率（H21年5月）は  
小学校 15.5%  
中学校 5.0%

女性校長（小中学校）	0/12人（0.0%）	1/12人（8.3%）
女性教頭（小中学校）	2/12人（16.7%）	2/12人（16.7%）

市管理職（課以上）	5/78人（6.4%）	6/62人（9.7%）
（部長級）	0/15人（0.0%）	1/13人（7.7%）
（課長級）	5/63人（7.9%）	5/49人（10.2%）
（課長補佐級）	36/96人（37.5%）	32/76人（42.1%）
（係長級）	15/57人（26.3%）	46/108人（42.6%）

※県の調査結果では一般行政職の女性管理職は5.7%で19市中11位です。最も高いのは東御市の12.1%

専門職も含めて徐々に増えているので今後に期待できそうです。

※県下の学校で女性のPTA会長は  
小学校では10/366人（2.7%）  
中学校では2/173人（1.2%）

社協地区会長	1/21人（5.0%）	0/21人（0.0%）
民児協地区会長	0/16人（0.0%）	3/16人（18.0%）
小中学校PTA会長	0/12人（0.0%）	0/12人（0.0%）

## なぜ（トップ）に女性が少ないのでしょうか

（現役の小中学校PTA役員アンケートから）

- 女性の会長が少ない理由は
  - ①家事・育児に忙しくPTA活動に専念できない（57.9%）
  - ②男性が会長になるのが社会慣行である（47.4%）
  - ③責任ある地位につきたくないと考えている（26.3%）
  - ④組織活動の経験が少ない女性が多い（10.5%）
- 男性は0%なのに女性自身の思い込みと思われるものは
  - ①女性が会長では男性の協力が得にくい（女性の13.3%）
  - ②女性が会長では周りに軽く見られる（女性の6.7%）
  - ③指導力のある女性が少ない（女性の6.7%）



女性自身の意識改革が必要では？

男女共同参画社会づくりについてお聞きしました

## 市長さんとの懇談会開催

東北・関東大地震で  
被災された方々に

心よりお見舞い

申し上げます

さる2月22日(火)の午後、念願だった今井竜五市長さんとの懇談会が実現しました。市民の会会員19名が参加し、事前に提出しておいた質問事項に答えていただいていたから、岡谷市の男女共同参画推進について意見交換しました。

### 市民の会より提出された質問事項

- ① 理想とする男女共同参画社会の姿について市長さんはどのようにお考えですか
- ② 県知事は副知事に女性を起用しました岡谷市ではそのようなお考えはありますか。また、岡谷市の行政職においては、まだまだ女性管理職が少ないように思いますが、どうしてでしょうか。今後についてどうお考えになりますか



- ③ 男女共同参画の視点で社会福祉を充実させるためには、男性も女性も働く場が必要だと思いますが、岡谷市は働く場をどのようにしたいと考えていますか
- ④ 男女共同参画について各地区の間に意識の差があると思われそうですが、男女共同参画を市全体でどのように進めていったらよいか、お考えをお聞きたい。
- ⑤ 男女共同参画計画が市総合計画、23年度方針の中に具体的にどのように位置づけられるのか、岡谷市の男女共同参画社会づくりをどのように進めていこうとしているのか。

### 《参加者の声》

新屋敷 今井和子

保健センターで開催された市民の会と市長さんとの懇談会に出席しました。

男女共同参画について、市長さんのお話では、少子高齢化や社会経済情勢が急速に変化する中で、人々の価値観やライフスタイルが多様化している。「男だから、女だから」ととらわれず、お互いに尊重し、思いやり協力しあって、一人ひとりが輝くまちづくりに取り組んでいる。女性管理職の登用については、トータルに考え能力で判断している。ある年齢以上になると男性が多くなる。

管理職になると長時間、過労働になるので女性はやりたがらない。市では子育て支援をし、女性が社会へ出ていける政策づくり、働きやすい環境整備、カムバックした時の支援等をしているとのことであった。女性の視点は、企業の成長にも不可欠ですが育児をきっかけに仕事を辞めてしまう場合が多い。女性が生き生きと働き続けられるように、安心して子どもを預けられる場所の確保、育児休業や短時間勤務など多様な働き方を認め、女性も男性も「長時間労働が当たり前」の考え方を変える時期にきています。仕事を持ち、子どもを育て、生活を楽しみながら生きていきたいと思えます。粘り強く意識啓発を続け、支え合える社会づくりをめざす市の取り組みをお聞きし男女共同参画社会実現に向けて理解を深める有意義な会議でした。

の  
伸びやかに  
男女が生きる  
参画社会



## 茅野市男女共同参画推進会議 との交流会を開催

〔日時 3月11日(金) 13:30~15:00〕  
〔会場 岡谷市役所 401B 会議室〕

茅野市より「男女共同参画推進会議」の  
小地域部会のメンバー(男性3名、女性2名)  
と市職員2名の7名を市民の会13名と伊藤主  
幹が迎え、それぞれの男女共同参画推進の現状  
を報告し合い、意見交換しました。

その終了間際に関東東北大地震が発生して中  
断、暫くしてから再開し、しめくくりました。

茅野市の推進会議は、第2次茅野市男女共同参画計画「はつらつプラン21」  
【男女が共に創る住みよい地域社会】の実践に向けて ①小地域部会(最重点課題)  
②雇用(職場)部会 ③家庭部会 ④教育部会を設けて取り組んでいます。



### <参加者の声>

広報部 野 溝 道 子

各市からの概要説明の後、次のような意見が出されました。  
茅野市から — 茅野市の自治体組織は岡谷と異なり、地域の決定の場(区会)に議員  
として女性が参加することは難しい。アンケートを取ったりして努力しているが、  
行き詰まりを感じている。しかし、もっと動かなければならないと思った。

男女平等の考えは子どものうちからの教育が必要で、岡谷市が漫画冊子を配布し  
感想をつどいで発表してもらったり、ポスターを募集したりしている点感心した。  
岡谷市から — 岡谷市の計画は数値目標によって努力している。市民の会として市民  
の側からの働きかけをし、市と市民と区の連携を図ろうとしている。  
○それぞれの地域で頑張っている人たちがいること。誰もが生きやすい社会づくりには  
男女共同参画が必要との理解を、もっともっと広めたいと思いました。



### ◆第3回 パートナーシップ講座 ～一人ひとりが輝く未来に向かって～

と き 12月8日(水) 7:00~8:30  
と ころ イルフプラザ カルチャーセンター  
テ マ 「起業と男女共同参画」  
発 表 者 かどやカルチャーハウス 鮎澤 美知 さん  
安工業 宮坂安寿恵 さん

### <担当者の感想>

研修部 山 崎 一 子

宮坂安寿恵さんの発表 — 「何事も挑戦、前向き一途に」の気持ちで多くの仕事  
を経験しながら人生設計を立て、主婦をしながら少し仕事をしたいというところから  
始め、どんどん膨らんで今に至っているとのこと。働きたい、労働したい、この気持  
ちを大切に、仕事には責任と熱意を持ち、上手な時間の使い方により労働に対する充  
実感を持つことができたそうです。

鮎澤美知さん — 家族構成上、自分が外に出ることが困難であったため始めたの  
が学習塾。「物に向かったら一生懸命にやる」がモットー。全てスムーズに行くこと  
はないが、地域に定着し幾多の分野で学び、楽しんでいたたけることに生き甲斐を感じ、  
この姿にパートナーも温かく思いやりの心で協力してくれる。

○意見交換では、「女性は面子、プライドに拘らないから起業しやすい」「自分の働  
く姿に夫や子どもが協力的になり家庭は和やかになった」「分相応に欲張らずに稼ぐ  
のがよい」等が出されました。母親の働く姿を見せることや男女共同参画を踏まえた  
次世代育成が大切であること。また、発表者の趣味の豊かさにも感動しました。